

# 平成26年度 学校評価実施報告書

学校名( 西陵中学校 )

## 3 2回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理						評価日	平成27年3月5日	評価日	平成27年3月12日
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校 評議員による改善 に向けた支援策
1	確かな学力	「未来を拓く」思考力・判断力・表現力の育成 基礎・基本的な知識・技能の習得 家庭学習の習慣化	言語活動を組み入れたグループ学習 グループ学習 家庭学習課題の取組	知識を活用するような場面がありますか。 今回初めての質問であるため、比較することはできないが、60%弱の保護者がそう思うという回答であった。 家庭学習は十分ですか そう思うという回答は56.2%	⇒	グループ学習・言語活動については、浸透してきたと感じる。 1日の読書の時間が30分未満の生徒が70%を超えている。	普段の学習活動・グループ学習により「発信する力」「活用する力」を身につけさせる学習スタイルを研究する必要がある。 ただ、各教科による研究だけではなく、読書も重要な要素であると考え、新年度から読書の取り組みも始める。	⇒	小学校の段階から携帯ゲームやスマートフォン等、本当にゲームに夢中になっている子供が多いと感じる。 地域にも活用できる人材はたくさんいると思うので、学習活動の補助などボランティアとして関われるよう連携していきたい。
2	豊かな心	「指導の3原則」 学校行事を創ることを通して豊かな心を育成する 自分の考えを発信する力の育成	挨拶・時間・掃除の徹底 学校行事を生徒自身で作上げるための話し合い活動の積極的に取り入れる 授業他すべての教育活動に、発表の場を設定し活動する	生徒の挨拶はしっかりとできていますか 生徒は様々な場面で、自ら解決しようとする態度が見られますか 生徒に十分な説明する力が身についていますか できてという回答は、挨拶で81.8%、時間を守る態度で70.9% 見られるという回答が79% 出来ているという回答は59.4%	⇒	生徒のが発表する場面での内容や態度には、徐々に変化が見えるようになってきた。学校祭なども年々充実してきたように感じる。個人的な考えを説明したり発表することについては不十分である。	授業やその他の活動全般に渡って、学んだことなどをまとめたり、発表する場面を増やし、考えを説明したり、発表する場を設定する。	⇒	地域の行事に中学生が活躍してくれる場面が増えたように思う。今後も地域との連携を進めていってほしい。 生徒数が増えていることも気になる。
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 体力の向上	遅刻・早退・欠席連絡の徹底と、委員会による啓発活動の取組 運動部への積極的参加の呼びかけ、体育授業時の体づくり運動の充実	生徒は起床・食事・就寝など、時間を守る態度は身についてきましたか 保健体育の授業は楽しいですか 出来ているという回答は70.9% 楽しいと答えた1年生の77%に比べ2年生では37%	⇒	朝食を毎日食べている生徒が85%、ほとんど食べないという回答が7%ある。	発育期の時期であることを意識させ、健康に関する知識や、運動の必要性を生徒自身が理解できる学習や活動を計画的に行う。	⇒	いろんな面で、好きなことは頑張るが、しんどいことに我慢できない子供が増えているのではないかと感じる。
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 情報発信の充実	小中で継続した学習規律の推進 小中合同授業研修会の実施 積極的なホームページの更新	他校種(小学校・高校)との連携の必要性を共通理解し、連携を深めている 中学校での様子は保護者の皆さんに伝わっていますか 82%が深められているという結果であった。 伝わっているという回答は76.7%	⇒	今年度も計画通りの小中連携を推進することができた。ホームページの利用は50%強にとどまっている。	小中一貫での取組が少しずつ整えられて来たように思う。今後、さらなる発展のために小学校と連携して9年間の計画を立てられるよう深めていく。	⇒	中学生が地域に関わってくれることは増えたが、地域が中学校に関わる場面はそう多くない。 小学校と地域の連携は結構いろんな面で出来ていると思うが、中学校とも出来ることを検討して協力していきたい。

## 4 総括・次年度の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・獲得した知識を活用する力を身につけられるよう、現在の授業スタイルの継続と、まとめや発表を意識した授業展開の改善が必要である。</li> <li>・現在の学校経営方針の改善につながるアンケート内容の再考や、保護者・地域への発信に工夫し、より知っていただくことが必要。</li> <li>・生徒数、学級数の減少に伴い教職員の人数も減少するため、少ない教職員でも取り組みを継続できるより良いシステム作りも重要。</li> </ul>
---